1. 動詞の用法

フィリピン語（タガログ語）をマスターするための一番の厄介な点は、動詞の変化である。非常に複雑に変化するため、慣れないと言葉の意味が通じない。逆にある程度使いこなせるとタガログ語の面白さも判ってくるし、フィリピン人からはお世辞なりにも「あなたは丸でフィリピン人みたい！」と言われる。

そこで基本的な用法についてのみ紹介するが、詳しく知りたい方はタガログ語の文法の本も出版されているので、それを参考にされたい。

フィリピン語では動詞の構成は既に述べたとおり、先ず語幹があり様々な接辞（接頭辞、接中辞或いは接尾辞）が付く事により、時制や意味が変化し会話又は文章表現が出来上がる。この接辞の使い方や接辞付加に慣れる事である。まずは下記にあげるものをマスターすることに心掛けた方がよい。

（1）動詞に付く接辞の用法と主な種類

動作を行う人が主格となる場合を能動態、動作者以外の語、乃ち直接目的語、間接目的語、副詞などが主格となる場合を受動態と呼ぶ。要は会話の中で何を強調するかで、能動態か受動態かが決まる。例えば「私は果物を食べた。」という文章で、「私は」を強調したい場合を能動態、「果物」を強調したい場合を受動態と考え、動詞の接辞を選択する。

例：能動態 um-動詞 **Kumain** ako ng prutas.（私は果物を食べた）

受動態 in-動詞 **Kinain** ko ang prutas.（果物は私に食べられた）

①能動態に付く接辞の主な種類と用法

um 主格動詞

mag 同上

mang 同上 この三つの接辞が付くと、動作者が主語になり、被動作者が目的語となる。それに場所や時間を表す言葉が付いて文が作られる。通常は目的語を伴わない文、乃ち自動詞として使われる場合が多い。

maka 可能動詞 動詞の語幹についてその語幹の示すことが「～出来る」「可能性のある」という意味を表す。

ma 感情動詞 感情や日常生活を表現する動詞に多い。目的語を取らない。

magpa 使役動詞 「誰々に～をさせる」と言う場合に使用する。

maki 依頼動詞 「誰々に～をお願いする」のように、人にもものを頼む場合に使用する。

②受動態に付く接辞の主な種類と用法

in 目的格動詞 目的とする行為やものに重点を置きたい場合に使用する。被動作

者やものを主格に取る。

an 所有格動詞 目的とする場所又は相手に、表現の重点を置く場合に使用する。例えば、出かける時に行く場所を強調したい場合など。間接目的語がある場合、間接目的語が主格になる。

ma 可能動詞 maka-動詞と同じ可能動詞であるが目的語を伴って受動態となり、その目的語が主格になる。能動態に付く感情動詞も同じ ma なので注意を要する。

pa+in 使役動詞 magpa-動詞の受動態、行為やものが重点。

paki 依頼動詞 maki-動詞の受動態。

i 恩恵動詞 「誰々のためにする」のように、人に恩恵を与える場合に使用する。恩恵を受ける被動作者や動作を行うための手段などが主格になる。i-動詞の他一部に ipag-動詞、ipang-動詞がある。ただし ipag-動詞は動詞の能動態が mag-動詞の場合のみ、ipang-動詞は同様に mang-動詞の場合のみ使用される。

ika 理由動詞 「～のせいで」「～の理由で」のように、理由を強調したい場合に使用する。ika-動詞または ikapag-動詞、ikapang-動詞がある。動詞の能動態が um-動詞の場合 ika-動詞、mag-動詞の場合 ikapag-動詞、mang-動詞の場合 ikapang-動詞を使用する。

その他、動詞の複数形を表す magsi (um-動詞の複数形)、magsipag (mag-動詞の複数形)、pag+in (in-動詞の複数形)、pag+an (an-動詞の複数形)、「お互いに～する」という意味を持つ mag+an、「～したばかり」という意味を表す ka、気持ちを表す ka+an、語幹の動作を別の人に行って貰う様に頼む時に使う ipa など、多くの接辞がある。

(2) 動詞の時制と事例

フィリピン語の動詞の時制は、英語で言う過去形、現在形、未来形よりは、完了形、未完了形、未来形という方が適している。ただし動詞の中には一部時制を持たないものがあるので、動詞の最後の項で説明する。その他の動詞の変化としては、不定形、命令形がある。

1) um-動詞 (主格動詞)

例 1 :

Pumunta ako sa Osaka kahapon. (私は昨日大阪へ行きました)

Kumanta kami sa kuwarta nila. (私たちは彼らの部屋で歌った)

Bumili siya ng bulaklak para sa ate niya. (彼は姉のために花を買った)

Bumili sila ng bahay sa pamamagitan ng pera ko.

(彼らは私の金で家を買った)

um-動詞 能動態
不定詞 語幹の語頭の次に um

例 1 punta (行く)
pumunta

命令形	語幹の語頭の次に um (不定詞と同じ)	pumunta
完了形	語幹の語頭の次に um (不定詞と同じ)	pumunta
未完了形	語幹の語頭の次に um + 語根の文字	pumupunta
未来形	語幹の語頭の文字の 2 回繰り返し	pupunta

ただし語幹の最初の文字が母音の場合、接頭辞となる。

例 2 : akyat (登る) um+語幹

不定詞 umakyat 命令形 umakyat 完了形 umakyat
未完了形 umaakyat 未来形 aakyat

2) mag-動詞 (主格動詞)

例 1 :

Magbibigay ako ng pasalubong sa kanya. (私は彼にお土産をあげます)

Magbibigay si Fe ng libro kay Eva. (フェはエヴァに本をあげるだろう)

Nagalit ang tatay ko dahil sa katamaran ko. (父は私の怠惰に怒った)

mag-動詞	能動態	例 1 bigay (与える)
不定詞	mag+語幹の語頭の文字	magbigay
命令形	mag+語幹の語頭の文字 (不定詞と同じ)	magbigay
完了形	nag+語幹	nagbigay
未完了形	nag+語幹の語頭の文字の 2 回繰り返し	nagbibigay
未来形	mag+語幹の語頭の文字の 2 回繰り返し	magbibigay

例 2 : aral (勉強する)

不定詞 mag-aral 命令形 mag-aral 完了形 nag-aral
未完了形 nag-aaral 未来形 mag-aaral

語幹の先頭が母音の場合、- (ハイフン) をつける。

上記の場合ハイフンがないとマガラルと読んでしまう。

* 自分のすることを強調したい場合

punta (行く) という動詞は一般的には um-動詞 pumunta が使用される。

行くと云うことをより強調したい場合、即ち「必ず行く」という場合、mag-動詞 magpunta を使う。ただし um-動詞のすべてがこのような使い方が出来るわけではないので、使えるものを覚えるしかない。

* mag-動詞の便利な利用法

外来語 (フィリピン外の国) を動詞として使う場合は、mag-動詞を使うことが多い。

日本語の単語に mag-動詞をつけて使っても良い。

mag-ski スキーに行く Mag-ski tayo! スキーに行きましょう!

mag-disko ディスコに行く Mag-disko tayo! ディスコに行きましょう!

mag-kape コーヒーを飲む Mag-kape tayo! お茶を飲みましょう (喫茶店で)!

mag-ohanami お花見に行く Mag-ohanami tayo! お花見に行きましょう!

3) mang-動詞 (主格動詞)

① 基本形 そのままつける

例 1 : **Manggugupit** ako sa barbar. (私は髪を切りに行きます)

mang-動詞	能動態	例 1 gupit (髪を切る)
不定詞	mang+語幹の語頭の文字	manggupit
命令形	mang+語幹の語頭の文字 (不定詞と同じ)	manggupit
完了形	nang+語幹	nanggupit
未完了形	nang+語幹の語頭の文字の 2 回繰り返し	nanggugupit
未来形	mang+語幹の語頭の文字の 2 回繰り返し	manggugupit

② 語幹の頭が b, p の場合

例 2 : bigay (与える) の場合、mang+bigay の ng+子音 b が落ちて **m** に変わり、**mamigay** となる場合

balisa (落ち着かない) の場合の様に mang+balisa の ng だけが落ちて **m** に変わり **mambalisa** となる場合がある。

不定詞 mamigay, mambalisa	命令形 mamigay, mambalisa
完了形 namigay, nambalisa	未完了形 namimigay, nambabalisa
未来形 mamimigay, mambabalisa	

mang+bili → mamili (買い物する) 「b は脱落」

mang+palengke → mamalengke (市場に行く) 「p は脱落」

③ 語幹の頭が l, r, d の場合

例 3 : loko (だます) mang+loko の **g** が落ちて **manloko** となる。

ligaw (求愛する) mang+ligaw → **manligaw**

raket (人をゆする) mang+raket → **manraket**

dukot (スリをする) mang+dukot → **mandukot**

不定詞 manloko	命令形 manloko	完了形 nanloko
未完了形 nanloloko	未来形 manloloko	

④ 語幹の頭が t, s の場合

例 4 :

sipa (蹴る) mang+sipa の ng+子音が落ちて **n** に変わり、**manipa** となる。

sulat (職業として書く) mang+sulat → **manulat** 「s は脱落」

tahi (裁縫をする) mang+tahi → **manahi** 「t は脱落」

不定詞 manipa	命令形 manipa	完了形 nanipa
------------	------------	------------

未完了形 naninipa 未来形 maninipa

⑤ 語幹の頭が k の場合

例 5 : kopya (コピーする) mang+kopya の k が落ちて mangopya となる。

kahoy (タキギを集める) mang+kahoy → mangahoy 「k は脱落」

不定詞 mangopya 命令形 mangopya 完了形 nangopya

未完了形 nangogopya 未来形 mangogopya

⑥ mang+その他の音で始まる場合 そのままつける。

なお母音の場合 mang- とその母音の間にハイフンを取りそのまま読む場合と ng とそれぞれの母音がかっつき鼻濁音 (ガギグゲゴ) になる場合がある。

例 6 : mang+api → mang-api 虐待する

mang+isda → mangisda 魚を捕る

mang+hiram → manghiram 借りる

4) ma-動詞 (感情動詞)

例 1 : Huwag kang magalit. (あなたは怒ってはいけません。)

ma-動詞	能動態	例 1 galit (怒る)
不定詞	ma+語幹	magalit
命令形	ma+語幹 (不定詞と同じ)	magalit
完了形	na+語幹	nagalit
未完了形	na+語幹の語頭の文字の 2 回繰り返し	nagagalit
未来形	ma+語幹の語頭の文字の 2 回繰り返し	magagalit

例 2 : Matutulog tayo sa kuwarto. (さあ、私たちは部屋で寝ましょう。)

5) maka-動詞, ma-動詞 (可能動詞)

例 1 : Hindi na akong makapunta sa Hapon.

(私はもう日本へは行くことが出来ません。)

ma-動詞	能動態	例 1 punta (行ける)
不定詞	maka+語幹	makapunta
命令形	maka+語幹 (不定詞と同じ)	makapunta
完了形	naka+語幹	nakapunta
未完了形	naka+語幹の語頭の文字の 2 回繰り返し	nakakapunta
未来形	maka+語幹の語頭の文字の 2 回繰り返し	makakapunta

例 2 : Masusulat ko ang Tagalog.

(私はタガログ語で手紙を書けるでしょう。)

ma-動詞	受動態	例 2 sulat (書ける)
-------	-----	-----------------

不定詞	ma+語幹	masulat
命令形	ma+語幹 (不定詞と同じ)	masulat
完了形	na+語幹	nasulat
未完了形	na+語幹の語頭の文字の2回繰り返し	nasusulat
未来形	ma+語幹の語頭の文字の2回繰り返し	masusulat

6) in-動詞 (目的格動詞)

例 1 :

Kinain ko ang masarap na pagkain. (私は美味しい食べ物を食べました。)
直訳すると「美味しい食べ物は私に食べられた。」となり、日本語としてはおかしくなる。
従って、受動態であっても実際には能動態的に使うのが自然である。

in-動詞	受動態	例 1 kain (食べる)
不定詞	語幹の最後に in を付加	kainin
命令形	語幹の最後に in を付加 (不定詞と同じ)	kainin
完了形	語幹の語頭の次に in を入れる	kinain
未完了形	語幹の語頭の文字を2回繰り返し、語頭の次に in を入れる	kinakain
未来形	語幹の語頭の文字を2回繰り返し、最後に in を付加	kakainin

語幹の語尾に in をつける場合、語幹の最後の母音が o である場合、o → u に変わる。
また語幹の最後が母音の場合 hin となる。

例 2 : **bago** (新しい) + **in=baguhin** (新しくする)

不定詞 baguhin 命令形 baguhin 完了形 binago
未完了形 binabago 未来形 babaguhin

7) an-動詞 (所有格動詞)

例 1 : **Punasan mo ang ibabaw ng mesa.** (机の上を拭きなさい)

ただし語幹の語尾に母音がある場合、an → han となる。

例 2 : **Pupuntahan ko ang disko.** (ディスコへ行ってきました)

直訳すると、例 1 は「机の上は私によって拭かれた」

例 2 は「ディスコは私の行く所です」in-動詞と同様、能動態的に訳す。

an-動詞	受動態	例 1 punas (拭く)
不定詞	語幹の最後に an を付加	punasan
命令形	語幹の最後に an を付加 (不定詞と同じ)	punasan
完了形	語幹の語頭の次に in を入れ、最後に an を付加	pinunasan
未完了形	語幹の語頭の文字を2回繰り返し、 語頭の次に in を入れ、最後に an を付加	pinupunasan
未来形	語幹の語頭の文字を2回繰り返し、最後に an を付加	pupunasan

8) i-動詞 (恩恵動詞)

① mag-動詞の場合・・・直接目的語が主格となる。

例 1 : Ibigay mo *ang libro* sa akin. (本を私に・私のために下さい)

直接目的語

② um-動詞の場合・・・間接目的語が主格となる。

例 2 : Isusulat mo *ako*. (私に・私のために手紙を下さい。)

間接目的語

i-動詞	受動態	例 1 bigay (与える)
不定詞	語幹の頭に i を付加	ibigay
命令形	語幹の頭に i を付加 (不定詞と同じ)	ibigay
完了形	語幹の語頭の次に in を入れ、頭に i を付加	ibinigay
未完了形	語幹の語頭の文字を 2 回繰り返し、 語頭の次に in を入れ、頭に i を付加	ibinibigay
未来形	語幹の語頭の文字を 2 回繰り返し、頭に i を付加	ibibigay

ipag-動詞は基本的に i-動詞と同じ使い方をする。

ただし ipag の付く場合は少なく、mag-動詞のみにしか使用出来ない。

ipag-動詞	受動態	例 1 luto (料理する)
不定詞	語幹の頭に ipag を付加	ipagluto
命令形	語幹の頭に ipag を付加 (不定詞と同じ)	ipagluto
完了形	接辞の ipag を語幹の頭に付加し、ipag に in を入れる。	ipinagluto
未完了形	接辞の ipag を語幹の頭に付加し、ipag に in を入れた後、 語幹の語頭の文字を 2 回繰り返す	ipinagluluto
未来形	語幹の語頭の文字を 2 回繰り返し、頭に ipag を付加	ipagluluto

9) magpa-動詞, pa+in-動詞 (使役動詞)

「～させる」という場合に使用する。

magpa-動詞は能動態で、pa+in 動詞はその受動態である。

例 1 : Magpapapunta ako nila sa bundok. (私は彼らを山に行かせた)

magpa-動詞	能動態	例 1 punta (行かせる)
不定詞	magpa+語幹	magpapunta
命令形	magpa+語幹	magpapunta
完了形	nagpa+語幹	nagpapunta
未完了形	nagpapa+語幹	nagpapapunta
未来形	magpapa+語幹	magpapapunta

例 2 : Pakurutin mo ako. (パーマをかけて下さい)

pa+in-動詞	受動態	例 2 kurot (パーマをかける)
不定詞	pa+語幹+in	pakurutin
命令形	pa+語幹+in (不定詞と同じ)	pakurutin
完了形	pina+語幹	pinakurot
未完了形	pina+語幹の語頭+語幹	pinakukurot

未来形 pa+語幹の語頭+語幹+in pakukurutin

1 0) maki-動詞, paki-動詞 (依頼動詞)

例 1 : Makikisindi! (煙草に火をつけて下さい)

maki-動詞	能動態	例 1 sindi (火をつける)
不定詞	maki+語幹	makisindi
命令形	maki+語幹 (不定詞と同じ)	makisindi
完了形	naki+語幹	nakisindi
未完了形	nakiki+語幹の語頭	nakikisindi
未来形	makiki+語幹の語頭	makikisindi

paki-動詞	受動態	例 1 usap (話す)
不定詞	paki+語幹	pakiusap
命令形	paki+語幹 (不定詞と同じ)	pakiusap
完了形	paki の語頭の後に in を入れ+語幹	pinakiusap
未完了形	paki の語頭の後に in を入れ+ki+語幹	pinakikiusap
未来形	paki+ki+語幹	pakikiusap

例 2 : Pakitawag mo ang doktor sa akin.

例 3 : Makitawag ka ng doktor sa akin. (私のために医者を呼んで下さい。)

1 1) ika-動詞 (理由動詞)

例 1 : Ikinagagalak kong makilala ka! (あなたに会えて嬉しい)

初めて出会った時の挨拶に使う言葉で、直訳すると、「あなたに会えることが・理由が・私の喜びです」となる。

ika-動詞	受動態	例 1 galak (嬉しい)
不定詞	ika+語幹	ikagalak
命令形	ika+語幹 (不定詞と同じ)	ikagalak
完了形	ikina+語幹	ikinagalak
未完了形	ikina+語幹の語頭の文字+語幹	ikinagagalak
未来形	ika+語幹の語頭の文字+語幹	ikagagalak

(3) その他の動詞

1) maging

英語で become 「～になる」と言う動詞を作る場合、maging が使われる。

Gusto kong maging guro. (私は先生になりたい。)

不定詞 maging 完了形 naging 未完了形 nagiging 未来形 magiging

2) may, mayroon, wala 「ある」「いる」「ない」「いない」

を表す動詞である。これらは基本的には時制を持たない。

Mayroon ba ang prutas dito? (ここに果物がありますか?)

May prutas ba dito? (ここに果物はありますか?)

Wala ang prutas dito. (ここに果物はありません)

may, mayroon どちらを使っても良いが、may は直後に名詞・形容詞・数詞が来る場合に使用し、mayroon は次に疑問詞 ba や副詞の na, pa などの1音節語や主格代名詞が入る場合に使用する。その他 **narito** 「ここにある」 **nariyan** 「そこにある」 **naroon** 「あそこにある」も時制を持たない。

- ① 時制を表したい場合、**magkaroon** を使う。

例：Magkakaron kami ng parti bukas. (私たちは明日パーティをします。)

完了形 nagkaroon 未完了形 nagkakaroon 未来形 magkakaroon

- ② 副詞の **na** や **pa** をつけて表現する。

完了形 例：Wala na ang prutas. (果物はもうありません。→ありませんでした。)

未来形 例：Mayroon pa ba ang prutas. (果物はまだありますか?)

- ③ 時制を表す単語を付加する。

bukas 明日、**kahapon** 昨日、**noon** 以前、**hinaharap** 将来などの単語をつける。

未来形 例：May parti ba bukas? (明日パーティがありますか?)

過去形 例：Mayroon akong pumunta sa Pilipinas noon.

(以前、私はフィリピンに行ったことがあります。)

2. 助動詞

助動詞は時制を持たない。通常、下記のものが会話でよく使われる。

- ① **gusto, ibig**・・・好きです、望む、～したい

Gusto kong kumain ng prutas. (私は果物を食べたい)

後に続く動詞は不定詞のみ

- ② **ayaw**・・・嫌いです、～したくない

Ayaw ko ng isda. (私は魚が嫌いです。)

後に続く動詞は不定詞のみ

* **Ayaw ko** は正式な使い方であるが、

会話では略して **ayoko** (アヨーコ) と使われている。

- ③ **kailangan, dapat**・・・必要です、～しなければならない

Kailangan kita. (あなたが必要です。)

後に続く動詞は不定詞のみ

- ④ **huwag**・・・～する

Huwag kang pupunta. (行ってはいけない)

後に続く動詞は不定詞か動詞の未来形のみ

3. 繋辞の用法

繋辞は名詞と名詞、動詞と動詞、動詞と形容詞など、単語と単語を結び付ける役割を持つ。

ng, na の2つが用いられる。(もう一つの繋辞 **ay** については前述した。)

1) 形容詞や動詞が名詞を修飾する場合

- ① **ng** は前に来る単語の語尾が母音の場合か、子音の **n** が付く場合に単語の語尾に付く。

語尾が母音の場合：きれいな(maganda)と女性(babae)を ng で結び付ける。

maganda ng babae → magandang babae 綺麗な女性

babae ng maganda → babaeng maganda どちらが先に来ても良い

語尾に子音の n が付く場合：強い(malakas)と雨(ulan)を ng で結び付ける。

ulang malakas 強い雨となり g のみが付加する。

② na は前に来る単語の語尾が n 以外の子音の場合、二つの言葉の間に na を配置する。

例：黒い(maitim)と猫(pusa)を na で結び付ける

maitim na pasa 黒い猫

例：怒っている(nagagalit)と人(tao)を na で結び付ける。

nagagalit na tao 怒っている人

ただし動詞が人称代名詞を修飾する場合は、すべて na を使用する。

例：Alice (アリス)と umiibig (恋する)を na で結び付ける。

si Alice na umiibig 恋するアリス

2) 形容詞が動詞、または動詞が動詞を修飾する場合、nang を使用する。

例：早く(mabilis)と歩く(lumakad)を nang で結び付ける。

lumakad nang mabilis 早く歩く

例：ゆっくり(mabagal)と食べる(kumain)を nang で結び付ける。

kumain nang mabagal ゆっくり食べる

4. 代名詞

(1) 疑問代名詞

主なものをあげると以下の通り

kailan いつ、saan どこで、sino だれが、ano 何を、paano どのように、

ilan いくつ、alin どれ、kanino だれのもの、magkano いくら、

bakit どうして、gaano どれくらい、nasaan どこにある

例 1 : Kailan kang uui sa Pilipinas? (あなたは何時フィリピンへ帰るの?)

例 2 : Ilang taon na siya? (彼は幾つですか?)

例 3 : Ano ang pangalang mo? (あなたの名前は何ですか?)

例 4 : Bakit ka laging malamig? (何故あなたは何時も冷たいの?)

例 5 : Gaano katimbang ka? (あなたは体重はどれ位ですか?)

(2) 人称代名詞

格	単数			複数		
	一人称	二人称	三人称	一人称	二人称	三人称
主格 ANG	ako	ikaw (前置型) ka (後置型)	siya	tayo/ kami	kayo	silá
所有格 NG	ko	mo	niya	natin/ namin	ninyo	nila
目的格 SA	akin	iyó	kaniya 相手を含む	atin/ amin 相手を含まず	inyo	kanila

例：一人称単数の場合

主格 ANG 私は Estedyante ako. (私は学生です。)

所有格 NG 私の Si Alice ang pangalan ko. (私の名前はアリスです。)

目的格 SA 私に、私へ、私のもの Ito ang akin. (これは私のものです。)

Tumawag ka sa akin? (私に電話しましたか?)

注1) tayo, kami は「私たち」だが、kami の場合、話し相手は含まれない。

注2) ikaw と ka は同じ「あなた」だが、ikaw は文の先頭に来る場合に使用するのに対し、ka は文の中や最後に来る場合にのみ使用する。

例1 : Ikaw ang maganda. (あなたはきれいです。)

例2 : Maganda ka. (同上)

Saan ka pupunta? (あなたは何処へ行くのですか?))

注3) 単数でも相手に対して丁寧な言葉づかいをする場合、複数の二人称を使用する。

kita: 「私はあなたに」または「私はあなたを」をこの一言で表現出来る。

例1 : Mahal kita! (私はあなたを愛しています。)

例2 : Mag-aalaga kita sa ospital. (私はあなたを病院で世話します。)

(3) 指示代名詞

これ ito	それ iyan	あれ iyon	主格
ここ dito	そこ diyan	あそこ doon	主格 (場所)
この nito	その niyan	あの niyon	所有格
これら mga ito	それら mga iyan	あれら mga iyon	*複数形
こんな ganito	そんな ganiyan	あんな ganoon	形容詞的用法
ここにある narito	そこにある nariyan	あそこにある naroon	動詞的用法